

かわしましんいち議会レポート

〒521-0012 米原市米原 1255

携帯電話：090-3995-6864

メール：maibaraclub@gmail.com

ホームページ：http://maibara-kawashima.blog



伊吹山植生再生プロジェクト

百花繚乱の伊吹山を再び

登山者憩う自然

豊かな山、復活へ

再生には10年程度必要

なぜ伊吹山再生の質問を

かつて東京方面に新幹線で出張する時、必ず窓側に座って車窓から見える伊吹山と富士山を撮影するのが日課でした。そこには緑豊かな伊吹山がありました。

その後、縁あって米原に移住し、大好きになった米原をもっと知りたいと米原観光ボランティアガイド協会に入会。山頂付近の鹿の足跡の多さ、少しずつ減っていく高山植物、見るも無残な姿になってしまった登山道を目の当たりにして心を痛めていました。

昨年の補欠選挙で伊吹・山東地区の字を訪ね回った際も、生まれてからずっと伊吹山とともに暮らしてこられた方々、伊吹山の眺望に惚れ込んで移住されてきた方など多くの住民の方々から、「もう我慢できない」「伊吹山を何とかして」「伊吹山を何とかして」「伊吹山を何とかして」を沢山お聞きかせいただきました。

米原市の宝であり、滋賀県・日本・世界の宝でもある伊吹山の再生は、単に米原市や滋賀県の課題ではないと思います。



2015年9月28日午前7時
(新幹線車窓から川嶋撮影)

伊吹山植生再生プロジェクト

トは市独自の取組みと県との協働の取組みがあり、その運営はとも複雑です。

更に関係する活動は、同プロジェクトに直接関係している

方々のみならず、例えば市役

所内の他部署の取組みや、

学校での取組み、課題意識

をお持ちの市民ボランティア

グループの活動など多岐に渡

ります。

重要なことのひとつは、目指

す姿の明確化の設定と共有と



本会議
録画配信

もらうことで活動を成功させるためには、トップマネジメントの情熱や情報発信が鍵と思いい、また私もこのプロジェクトを必ず成功させたい思いで、質問しました。

伊吹山再生の取組み

Q 「伊吹山植生復元プロジェクト」の令和6年度の目標に対する進捗と、課題を受けた令和7年度の計画と目標は。

A 令和6年度は、二ホンシカ捕獲目標を300頭に設定、2月時点で364頭を捕獲。南側斜面の生息密度は減少傾向も山頂部では依然高いため、令和7年度も300頭の捕獲目標とします。

また土砂流出防止対策の試験施工を実施し効果を確認したので、令和7年度は、8合目から山頂部にかけて緑化基礎工2800㎡を実施、植栽も進めます。さらに山頂の植生保全強化のため、金属防護柵設置拡大を予定しています。

Q プロジェクトのゴールは。

A 20年前の自然豊かで、緑あふれる伊吹山。多くの登山者が訪れ、山頂は多様な植物が咲き乱れ一面が色鮮やかなまさに「百花繚乱」、壮大なお花畑がある伊吹山を取り戻すことを目指しています。再

生には約10年程度要すると考えています。

Q 南側斜面崩壊防止・植生回復ロードマップ内容は。

A 12年度までに土砂災害対策と植生復元を進めます。具体的には、勝山谷川の堰堤新設、南側斜面の土砂流出防止、シカの捕獲対策、山頂の貴重植物保全を計画しています。



Q 伊吹山に関連した様々な取組みとの連携や目標連鎖は。

A 伊吹山特設サイトやインスタグラムを開設、危機的状況や復元に向けた取組を発信するPR活動を通じて、応援の輪の拡大と事業継続性を高める努力をします。

Q 連携や目標連鎖とゴール達成に向けた市長のマネジメントは。

A ピンチをチャンスに変え、再生に果敢にチャレンジし、市の価値を高める当プロジェクトを広くPRし、応援の輪を広げていきます。

答弁に対する川嶋の意見

伊吹山再生は、市・県・国を巻き込む過去前例のない取組みに対して、役割分担や日程

を、一般企業で複数組織から構成されたプロジェクトでは当たり前の可視化したロードマップを作成し実行する運びとなったことは、評価される内容です。また、目指したいゴールイメージも「百花繚乱の山を10年程度掛けて取りもどす」と具体的に設定し、関係者のみならず米原市民・滋賀県民に明確に理解してもらえる内容です。

先日の5月10日にプロジェクトイベント「a meeting」が盛大に開催され、多くの方々が来場されました。そこには多くの課題認識をお持ちの市民の皆さんや賛同される方々が集われ市民レベルの高まりを感じました。この流れをいかに継続していくかが重要ですが、ロードマップにはそこまで詳しく記載されていません。

今後賛同・参画される方々をいかに増やし、そしてそれがいつのまにか米原にとって当たり前の姿、すなわち文化（カルチャー）として根付いていくことが、ここ米原の価値であり続けられるように、意図をもって仕向けていくプロジェクトマネジメントの必要性を、私もサポート・参画していきます。



Instagram
随時更新中！

市民アンケート

感覚的なのですが、このプロジェクトに関して比較的楽観的に思っています。なぜならここ米原には郷土愛がある人材が沢山居られること、活動の結果が、荒れた大地が少しずつ緑に再生していくことで手に取るように見えると予測できるからです。

ひとりひとりができることを一歩一歩進む。その流れが周りをどんどん動かしていく。米原のようなコンパクトな地方都市だから出来ることだと信じています。

我々の可能性は無限です。必ず実現できます。



伊吹山再生に向けて、我々ができることは？
市民アンケート

結果と分析は今後この紙面やホームページから公開します。（前回の結果は裏面を見てください）

アンケート項目募集

こんなこと聞いて欲しいなあ、などございましたら、是非ご連絡ください。